

マイトーク

MY TALK

発行：中央大学放送研究会OB会(会長／福田好朗)

住所：〒192-0351 東京都八王子市東中野742-1 中央大学放送研究会気付

発行日：2018年(平成30年)4月

第18号

白門放送研究会(放研OB会)総会と 放送研究会創立65周年記念式典を開催

2017年9月9日(品川プリンスホテル)

中央大学放送研究会は創立65周年を迎え、記念式典を開催、これに合わせ白門放送研究会(中央大学放送研究会OB会)の総会を実施した。総会と記念式典の出席者は、OB62名、現役14名、ご来賓3名の計79名となった。



若尾会長と白門放送研究会支部旗



現役作成ビデオによる福田好朗新会長挨拶

放送研究会OB会の正式発足は放研創立40周年にあたる1992年で、以降2、3年に1回の総会(5年毎の周年事業の年とその中間の年)を開催し、今回は通算で10回目の総会で、学会の支部登録により白門放送研究会と改称してからはじめての支部総会となる。

白門放送研究会支部総会

総会では最初に2016年5月に授与された学会支部旗を紹介した後、若尾会長が挨拶。齋藤幹長が前回の総会以降(第9期)の事業報告と会計報告を、長谷部会計監査委員が監査報告を行った。引き続き二つの議案(①学会支部登録による会則の一部変更、②新役員選出)を会長が説明した。(報告と議案の詳細は2ページに記載)

第10期の新会長(支部長)には、19期OBの福田好朗前副会長(法政大学副学長)が選出された。福田新会長は急な海外出張のため出席できず、新任挨拶は現役作成のビデオメッセージで行った。ビデオ収録への現役会員の素早い対応は放研ならではの。いえる。

放送研究会創立65周年記念式典

◆現役からの活動状況報告

支部総会に引き続き現役主催による創立65周年記念式典を実施。

現役の千田委員長から最近の活動状況報告があり、番組発表会のために作成した短編の映像作品が上映した。
(2面へつづく)

放送研究会創立65周年記念式典

(1面よりの続き)

◆記念パーティ

現役の短編作品上映の後、記念パーティを開催。来賓の大村雅彦中央大学理事長、久野修慈学員会長、辻泉放送研究会部会長・文学部教授のご挨拶や酒井正三郎中央大学総長・学長からの祝電披露を途中で行いながら進行した。

13期の元テレビ東京アナウンサー前田紘子さんの音

頭で乾杯、待ちかねた懇談へ。懐かしい友、先輩、後輩との話はずみ、OBと現役の交流など賑やかな会となった。

また、OBのNHKや民放のアナウンサーの皆さんと現役の学生との懇談コーナーも設け現役からの質問と先輩のアドバイス、体験談などで懇親を深めた。

パーティーの終わりは現役の大津副委員長の中締めの後、毎回恒例の全員で輪になり肩を組んでの惜別の歌の斉唱、更に記念写真の撮影をして、名残を惜しみつ散会した。



議事説明をする若尾英樹会長



議長齋藤剛幹事長と長谷部勲会計監査委員

総会議事内容

1. 事業報告

平成27年 9月	第9回総会開催
平成27年 9月	マイトーク特別増刊号
平成28年 1月	マイトーク16号発行
平成28年 3月	学員会支部登録
平成29年 4月	マイトーク17号発行

2. 会計報告

【9期の会計報告 27年4月～29年3月】

収入の部	金額
前期繰越金	1,344,023
OB総会費	891,000
寄付金	10,000
年会費	586,000
学員会補助金	150,000
学員会入会補助金	12,000
雑収入	180
合計	2,993,203

支出の部	金額
会議費	137,873
事務費	13,388
9回総会事業費	980,391
機関紙・名簿・CD制作費・発送費	981,041
次期繰越金	880,510
合計	2,993,203

会則の変更 《1号議案》

会則の主な変更内容は次の通り。

- 支部登録に伴い、会の名称を「白門放送研究会」としたことによる変更。(1条、2条)
- 名簿の発行と維持→維持と管理(7条)
- 役員に参与を新設。会長、幹事長の相談役的立場として協力する。(8条、11条)。(会長・幹事長経験者に委嘱)
- 会計報告は会計監査・幹事会の承認を得て、総会及び機関紙で報告する。(18条)



第10期の新役員紹介



現役報告 千田裕貴委員長



現役制作の短編作品上映

新会長就任にあたって

福田 好朗 (19期)



昨年九月の総会において、承認いただき、中央大学放送研究会OB会会長であり、中央大学学生会白門放送研究会支部の支部長に就任しました。

放送研究会のOB会は、大学の文科系サークルとしては長い歴史を持つOB会のひとつだと思います。創立65周年を過ぎる歴史をもつOB会ですので、この歴史を続けることがひとつの使命であると考えております。

私は、法政大学で、22年間学生を教えてきました。現在、副学長として大学の運営を担っています。また、2011年から3年間常務理事として、大学経営にも責任を持ってきました。中央大学と同規模の大学において、教育、経営に携わってきました経験から感じますことは、今の大学と放送研究会が出来た当時、私が在籍していた学園紛争当時、そして、2000年以降の大学は、学生の気質も、大学の役割も大幅に変わってきているということです。

まず、学生は、18歳の年齢の減少と大学の収容定員の拡大で、だれでもが入れるようになったことで、さまざまな思いを持つ学生が入学してくることで、特定の学問やサークルなどをすることに意義を見出す学生は、もともとからいたのですが、みんなが行くから大学にいくという学生が増えてきています。また、一

般的に大学生が増えたことから、大学生だからいいこと、していけないことという常識が通用しなくなってきています。当然、大学内では、いろいろな事件や事故、問題が日常的に発生するようになっています。

また、大学は、2000年以降、授業の質的な保証を求められ、成績の厳格化、授業時間の確保など教育に対する比重が高くなってきています。最近では、昔に比べて、夏休みが短くなり、休講の回数が減ってきています。授業も、教科書をもとに解説する授業から、パワーポイントを使った教員独自の教材による授業が増えてきています。また、理系や新設の学部では、演習や課題を与えて独自にリサーチをして課題解決を求める授業（アクティブラーニングあるいは課題解決型授業とよばれる）などが増えてきています。つまり、文系の学生でも授業に出席しないと単位がとれないような授業が増えてきています。

このような大学の環境のなかでは、学生のサークル活動も大幅に変わってきています。大学公認の文化サークルよりも、飲みサークルやイベントごとで離散をするサークル、あるいは大学を超えたインカレサークルなど規則や規制や組織に縛られないサークルに参加する学生が増え、従来型の文化サークルは、運営が難しくなっています。

当然、長い歴史を持つ放送研究会も同じような問題に直面しながらも、各代の運営委員がそれぞれの時代にあったやり方で苦勞して運営してきていると思えます。

大学を取り巻く環境が変わり、学生の意識が変わり、大学のサークル活動が変わってきているなかで、放送研究会OB会が、65年続いてきたことはすばらしいこ

とだと思っ反面、1975年以降のOBの参加が少なく、これらからのOB会をどのように続けるかという課題も多く感じるところです。幸い前期の執行部が努力され学会の支部の一つとして登録されたのを機会に、OB会の役割を再度確認し、1975年以降のOBと2000年以降のOBにとつて参加する意義のあるOB会あるいは支部とするかを考えていかなければと感じています。

最後に、私もこの3月で、大学を定年退職いたしますが、学生と生に接してきた経験と大学が変わっていかうとしている知識とを活かして、OB会のよき伝統を継続していくとともに新しい時代のOB会を作る努力をしていこうと思っています。是非、皆様のアイデアと参加を期待しております。

第10期役員 《2号議案》

役職	期	氏名 (敬称略)	備考
会長	19期	福田 好朗	
副会長	12期	若尾 英樹	
参与	8期	藤原 尚武	
参与	12期	砂岡 茂明	
参与	15期	齋藤 剛	
会計監査人	14期	長谷部 勲	再任
会計監査人	17期	北島 宏幸	
幹事長	20期	松原 優	
副幹事長	18期	大悟法 安路	再任
副幹事長	58期	竹内 香	再任
会計	13期	佐藤 猛志	再任
会計	18期	伴 信昭	再任
現役委員長	67期	千田 裕貴	
現役副委員長	68期	大津 昂平	
ゴルフ部会長	11期	河合 昭次郎	再任

※ 現役の役員は、12月の放研執行部改選で委員長が大津昂平さん(68期)、副委員長が齋藤駿人さん(69期)となりました。



来賓 大村雅彦 中央大学理事長



来賓 久野修慈 学員会長



乾杯の音頭は13期前田紘子さん



来賓 辻泉 放送研究会部会長（文学部教授）



中締めの挨拶をする大津昂平 放研副委員長



記念撮影 2期～11期



記念撮影 12期～14期



歓談風景



総会風景



アナウンサーと現役学生の懇談



大村理事長と現役学生の歓談



記念撮影 15期～51期



記念撮影 66期～69期（現役学生）



笑顔で歓談



惜別の歌を斉唱

平成30年新春、第94回箱根大学駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走）に予選会から復活した中大チームが2年ぶりに純白に深紅のCロゴ入りランニングシャツ、伝統の深紅のタスキで大手町のスタートラインに立った。代表21校が号砲で一斉にスタート。往路ゴールの芦ノ湖へ駆け上がる雄姿に感激したオールドファン、学生も多かったのではないかと。残念ながら来年のシード権獲得はならず、来年の大会も今夏の予選会からのチャレンジとなるが、6年後の第百回記念大会に向け一歩一歩着実に力を育ててほしいと多くの熱い声援があった。

そして、箱根路はそんなに甘くない、箱根路の怖さは経験した選手、OB、監督でなければわからないと、53年前の箱根駅伝の取材を思い起こした。当時駅伝は勝って当たり前前、中大は6連覇中で、

荒井 藤樹（14期）

53年前の箱根駅伝取材班

箱根駅伝往路取材の後、芦ノ湖にて



CHK 箱根駅伝7連覇必勝応援隊（芦ノ湖ゴール付近で）
前列左から
荒井藤樹（14期・7人）、小澤達雄（15期・7人）、
富田守貞（15期・7人）
後列左から
二村恒元（16期・7人）、赤羽浩樹（15期・制作）、
小野忠一郎（13期・7人）、小原玄三（15期・技術）、
檀浦（梅原）洋美（15期・制作）、武藤勝昭（15期・制作）

1965年（昭和40年）は7連覇への挑戦の年。その対応を放研はいかにするか。実況の経験者も録音テープやスクリプトなど駅伝に関する資料もゼロ。予算もない、人もいない。あるのは「元氣と伝統の放研魂」のみ。

そんな中、秋から検討を始め、直前の12月に入り急遽取材参加者を募り、報道資材用車両を戦力化、「仮称追っかけ」「夢の7年連続箱根駅伝の優勝にチャレンジ」を結成。往路1・4・5区のタスキ渡し、選手や中継地の活気、緊迫した雰囲気等をレポートし、録音構成にまとめ、取材参加者の座談会を組み入れ、後日音鑑室でオンエアすることを企画した。

七連覇は古豪日大の猛追に会い達成できなかったが、その時の取材車と当時一丸となって取り組み汗を流した参加スタッフの写真を眺めると感慨深いものがある。



特別報道班取材車両 CHK 号
左側左から 赤羽、武藤、富田
右側左から 二村、檀浦、小野
（いずれも昭和40年1月2日撮影）

現役から

放研の現況と学内・学外での活動について

委員長 大津 昂平 (68期)

【中央大学放送研究会の編成】

放送研究会は現在、2年生(69期)が28名、3年生(68期)が23名、4年生(67期)が13名の計64名が所属しています。2017年12月の冬の番組発表会で67期が引退し、今は68期と69期が中心となって活動しています。

会員はそれぞれ番組発表会に向けて映像、音響、会場照明、TK(タイムキーパー)の5つの班に分けられます。映像班は番組発表会において、映像作品の管理、上映、記録、音響班はマイク、BGMなどの上の音の管理を行います。また、会場班は接客、会場装飾を担当し、照明班は会場照明、ステージ照明の管理をします。

そして忘れてはならないのがTK班です。番組発表会のすべての時間を司り、進行をスムーズに行います。

【年間活動状況】

- 4月 春の番組発表会(4月29日(日))
- 5月 基礎ゼミ(新入生指導期間)、新歓合宿
- 6月 基礎ゼミ
- 7月 プチ番組発表会(身内向け)、前期納会
- 8月 夏の番組発表会(8月26日(日))
- 9月 夏合宿
- 10月 DJ職人(身内向け番組発表会)
- 11月 白門祭(秋の番組発表会)(11月24日(日))
- 12月 冬の番組発表会(未定)
- 1月 箱根駅伝の撮影
- 2月 没番組発表会(身内向け)
- 3月 卒業番組発表会、卒業コンパ、後期納会

放送研究会は春夏秋冬に開かれる番組発表会を中心に活動しています。さらに公式の合宿が春と夏に行われ、夏の合宿では毎年沖繩で過ごし、各代の交流を深めています。また中大放研の番組発表会は他大学からの評価も高く、総計200人以上の方々に来場していただいております。今はアナウンス研究会との差別化を図り、映像作品制作に特に力を入れています。ぜひ番組発表会にも足を運んでいただければ幸いです。

【学外活動】

地域のラジオ放送局の2枠をいただいで1時間の放送をさせていただいております。一つは調布FM



2017年 冬の番組発表会(劇団CHK冬公演)

(83.8MHz)で毎週水曜日23時〜24時に「調布の味噌汁CHK風味」というタイトルで大学生らしさ溢れる、比較的自由な放送をさせていただきます。もう一つはエフエム茶笛(77.7MHz)で土曜日の23時〜24時に「セント



2017年 夏の合宿(沖繩)

ラルZoo」というタイトルで放送しています。からも自由にトークを繰り広げていますが、毎回OPクでは埼玉県周辺のお勧めスポットを紹介して、是非聞いてみてください。埼玉県に行つたことの方はもちろん、埼玉県民の方には新たな埼玉の再発見につながるかもしれません。調布FMは水曜日に放送していますが、エフエム茶笛はおよそ1回の放送なので放送日の確認は中央大学放送研の公式Twitterでご確認ください。

昨年度の白門放送研究会総会では、会員一同中央大学放送研究会の歴史と伝統を強く感じることでした。今年度には記念すべき70期となる一年生がいます。僕たちは歴史ある中央大学放送研究会であることを自覚し、社会とともに目まぐるしくする「放送」にアンテナを張り巡らしながら、さらなる発展を目指して精進していく所存です。これから中央大学放送研究会を厳しくも、暖かな目で見守ってくださると幸いです。どうぞご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

ホワイトボード

OBゴルフ部会・報告
(於 武蔵野ゴルフクラブ)

平成29年度はお陰様で四回全て開催することができました。

◆桜、満開の下で

第41回 平成29年3月29日(十五名参加)

優勝 堤 美沙(15期)、2位 堀井栄一(17期)、

3位 大悟法安路(18期)、

◆梅雨の合間、天候に恵まれて

第42回 平成29年6月13日(十五名参加)

優勝 榛葉 肇(4期)、2位 近内紀久子(12期)、

3位 若尾英樹(12期)、

会計報告

平成29年度(2017年度)の会計収支につき、下記の通り報告します。
会計監査の後、4月14日の幹事会で承認されております。

会計 佐藤猛志(13期)、伴信昭(18期)
会計監査委員 長谷部勲(14期)、北島宏幸(17期)

平成29年度白門放送研究会会計報告

(平成29年04月01日～平成30年03月31日)

収入の部	金額
前期繰越金	880,510
総会会費	786,000
総会祝儀	40,000
学員会補助金	56,000
年会費	622,000
雑収入	8
合計	2,384,518

支出の部	金額
会場費	26,988
事務費	2,538
交通費	2,400
10回総会事業費	816,816
印刷費(機関誌、案内状等)・発送費	279,418
繰越金	1,256,358
合計	2,384,518



◆紅葉で山々が色づく中で
第43回 平成29年9月27日(十一名参加)
優勝 塩沢邦男(9期)、2位 大悟法安路(18期)、
3位 浅見一策(14期)
◆寒さを吹き飛ばし、渾身のプレイでの締めくくり
第44回 平成29年12月5日(十一名参加)
優勝 山本淳一(9期)、2位 大悟法安路(18期)、
3位 齋藤 剛(15期)

お知らせ

※ 会費納入をお忘れの方は、お振込をお願いします。
会費 6,000円(2017年4月～2020年3月の3年分)
送金先 みずほ銀行 上大岡支店(普通預金)
口座番号 4038547
口座名義 チュウダイホウソウケンオービーカイ
・送金の際、依頼人欄にご氏名と卒業期を記入願います。

※ 退会をご希望の方は、下記宛ご連絡ください。
yu-ma2@jcom.zaq.ne.jp (TEL 090-9340-6909) 松原優 宛

訃報

前号でご報告して以降にお知らせいただきましたご逝去された会員の方です。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

小樋山 仁(34期) 2017年(平成29年) 1月
宮 新照(1期) 2017年(平成29年) 10月
川島 孝雄(10期) 2018年(平成30年) 1月
高久 徹雄(6期) 2018年(平成30年) 4月

編集後記

◆放研創立65周年を迎え開催したOB総会と記念式典の様様を掲載しました。

当日の写真は6期の佐久間良平さん、12期の河口智彦さん、砂岡茂明さんの撮影です。ご提供ありがとうございました。

◆初秋の開催から半年が経ち初夏となりましたが、「マイトーク」の発行は毎年この時期となります。学員会支部登録により単年度毎に決算報告↓監査↓幹事会承認↓会報で会員へ会計報告を行なうためです。

◆今年の正月の箱根駅伝で、シード校常連の中大は予選会を勝ち抜き出場しました。14期の荒井さんから熱き青春の血をよみがえらせ、53年前の駅伝取材時の写真とコメントをお寄せいただきました。

◆駅伝取材は放研の伝統でもあります。是非それぞれの時代の実況や取材、応援などの思い出をご寄稿ください。(M・M)